

平成 23 年 12 月定例総社市議会 一般質問通告者一覧表

発言 順位	氏名	大項目
1	荒木勝美	1 市長の政治姿勢について 2 各種審議会、協議会、委員会等の設置について
2	村木理英	1 指定管理者制度について
3	難波正吾	1 地域経済活性化について 2 文化行政について 3 福祉行政について
4	加藤保博	1 市長の政治姿勢について 2 「ふるさと学習」について
5	西森頼夫	1 雪舟くんの運行について 2 礼儀教育について
6	塩見禎章	1 法務局の公図（地籍図）に表示されている公共財産について 2 岡山南部地区国営かんがい排水事業について 3 防災対策について
7	小西義巳	1 一丁坊古墳群について 2 中学校の武道教育について 3 総社市武道館について
8	大熊公平	1 東日本大震災への支援について 2 学校給食について
9	萱原潤	1 市長の政治姿勢について
10	津神謙太郎	1 防災について 2 教育行政について
11	秋山律郎	1 財政の健全化に向けて 2 国民健康保険事業について 3 堀家住宅について
12	赤澤康宏	1 子育て王国そうじゃについて 2 障がい者の就労場所について 3 小水力発電について
13	劔持堅吾	1 市長の政治姿勢について
14	頓宮美津子	1 男女共同参画について 2 市民の健康について 3 予算編成について 4 市長の政治姿勢について
15	中村吉男	1 市長の政治姿勢について
16	小西利一	1 総社市の自立に向けたプログラムについて
17	根馬和子	1 教育行政について 2 公の施設のあり方について

≪荒木勝美≫

総社市の自立に向けた12のプログラムについて

問 「まだまだ総社を変えたい」という意図するところはどのようなことなのか。

答 地域主権の中で、自立に向けた総社市に変換していくこと、そこを変えたいというのが変える本質である。

(市長)

≪村木理英≫

指定管理者制度について

問 今年度、きびジアリーナ

答 きびジアリーナ等と考える。

(市長)

≪難波正吾≫

文化行政について

問 昨年の国民文化祭の成果をもとに、「地域の文化、芸術を向上させ全国に発信する」という構想はどうなっているか。

答 国民文化祭に協力いただいたメンバーを中心に、さらに様々な団体の方に加わっていただき芸術祭検討委員会を立ち上げた。平成25年に「舞



有効活用が望まれる「きびジアリーナ」

≪村木理英≫

指定管理者制度について

問 全国発信は、交流人口を増やし、活性化するためと考えるがどうか。

答 そのとおりである。

問 交流人口を増やすための施設は何か。

答 きびジアリーナ等と考える。

問 今年度、きびジアリーナは指定管理期間3年間を終え、新しい管理者に移行するが、反省点はあるか。

答 反省点はある。

問 使うときになって備品が壊れているのが一番困る。予約が入った段階でメンテナンスをし、市民の皆様にご覧いただき順序と考えるがどうか。

答 そのとおりである。

問 備品を貸与する場合、減価償却したものは無償とし、

基準を満たしたものは利用料を請求し、貸与することを管理者と折衝できないか。

答 非常によい考え方だと思う。

問 きびジアリーナには30億円投資している。負債にもなりかねないが、有効活用すれば財産になる。市内のその他施設も同様である。ソフトの充実が課題と考えるがどうか。

答 本当によく分かるし、同じ考えである。

台」と「造形」を中心にした「文化芸術祭」の開催を協議している。(以下市長)

≪難波正吾≫

国民健康保険税について

問 健康保険税が所得に占める割合は、平成18年度で組合健康保険が3・1%、協会健康保険が4%、国民健康保険は10・5%だ。重い保険税、未納による財産差押え、短期証の発行等、国民皆保険を保障する国民健康保険が危機に

ある。その原因は国庫負担の削減にあり、4千億円増やせば全国の被保険者一人当たり一百万円の保険料引下げが可能となるが、本市でも検討してはどうか。

答 「国保税は上げない」と、基金を崩して踏ん張ってきた。一人当たり保険料調定額は、県下で四番目に低い。一般会計からの繰り入れは避けたいし、基金にも限界がある。引き下げは困難だ。



国民文化祭 温羅童太鼓